



平成 18 年 10 月 10 日

各 位

東京都中央区日本橋箱崎町 27 番 2 号
渡菊第 3 ビル 3 階
株 式 会 社 ラ ク ー ン
代 表 取 締 役 社 長 小 方 功
(コード番号：3031 東証マザーズ)
問い合わせ先：
取締役副社長兼管理部長 今野 智
電 話 ： 03 - 5652 - 1692

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向及び同時に公表しております「中期経営戦略（平成 19 年 4 月期～平成 22 年 4 月期）の策定について」を踏まえ、平成 18 年 6 月 9 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 4 月期中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1．平成 19 年 4 月期中間期業績予想数値の修正（平成 18 年 5 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	1,550	65	65
今回修正予想（B）	1,423	25	82
増減額（B - A）	127	90	147
増減率（％）	8.2%	-	-
前中間期実績	917	28	35

2．平成 19 年 4 月期通期業績予想数値の修正（平成 18 年 5 月 1 日～平成 19 年 4 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	3,700	200	200
今回修正予想（B）	3,400	370	500
増減額（B - A）	300	570	700
増減率（％）	8.1%	-	-
前期実績	2,289	95	122

3. 修正の理由等

平成 19 年 4 月期中間期業績予想及び平成 19 年 4 月期通期業績予想修正の理由

(1) 中期経営戦略の策定に伴う影響

本日同時に公表しております「中期経営戦略（平成 19 年 4 月期～平成 22 年 4 月期）の策定について」にてご報告申し上げますとおり、当社は中長期的な事業規模の拡大のために、

会員小売店の積極的獲得のための広告等への積極的な投資、出展企業に対する料金体系の変更、ユーザビリティ向上のための積極的なシステム投資、の 3 つを実施する予定であります。そのため、平成 19 年 4 月期中間期及び平成 19 年 4 月期通期に関しても 広告等への投資による集客費用の増加、出展企業への料金体系変更による初期費用売上高の減少、システム投資額の増加の 3 点の影響が及ぶ予定であります。

(2) 「オンライン激安問屋」の取引方法変更による影響

従来から予定の通り、当社は経営資源を主に「スーパーデリバリー」に投下し「オンライン激安問屋」に関しては売上高の向上よりは買取仕入から消化仕入への移行による利益率の向上を推進しております。現在、消化仕入への移行は順調に推移し直近では利益率の向上が達成されておりますが、消化仕入への移行の結果、商品の偏りが生じており売上高が当初計画値を達成できない見込みであります。

(3) 倉庫の統廃合及びオフィス移転による特別損失の発生

「オンライン激安問屋」は、現在商品の検品及び小分け作業を当社自社倉庫で行い、保管及び出荷を外部の委託倉庫で行っております。今回、オペレーションコスト等の見直し等を行った結果、外部委託倉庫を解約し当社自社倉庫にて検品、小分けのほか、保管及び出荷作業も行う体制に変更を行います。

同時に、現在自社倉庫の一部を利用しているオフィス（ECR センター）を本社オフィスと統合し業務の効率化を図るため当年度中に本社移転を行う予定であります。本社移転費用は現段階では未定であります。特別損失として計上する予定であります。

(4) 繰延税金資産の取崩による影響

今回の業績予想の修正及び中期経営戦略の策定に伴い繰延税金資産の再評価を行った結果、繰延税金資産全額の取崩を行うためであります。

なお、当業績予想の修正は、主に同時に発表いたしております「中期経営戦略（平成 19 年 4 月期～平成 22 年 4 月期）の策定について」に従う当社経営戦略の変更に伴うものであります。詳細は「中期経営戦略（平成 19 年 4 月期～平成 22 年 4 月期）の策定について」を同時にご参照いただけますようお願いいたします。

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上